



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 麻酔科・風間大樹

【研究責任者】

聖路加国際病院 麻酔科 風間大樹

当院で帝王切開術を行なった方を対象とした麻酔方法別の比較検討に関する研究

1. 研究の対象

2012年4月～2019年4月に当院で帝王切開術を受けられた方

2. 研究の目的・方法

帝王切開術は大きな侵襲を伴うため、麻酔管理が必要です。一般的に児へ麻酔薬が移行することを避けるために、全身麻酔ではなく脊髄くも膜下麻酔か硬膜外麻酔、またはその両方を使用します。これは母体の背骨の隙間(椎間)から針を穿刺し、脊髄くも膜下腔や硬膜外腔に麻酔薬を注入し、手術部位の感覚を鈍麻させる麻酔方法です。当院では当初、脊髄くも膜下麻酔と硬膜外麻酔を同じ椎間から穿刺する一椎間法を主に行なっていましたが、2014年頃から別々の椎間から穿刺する二椎間法、2017年頃から単回脊髄くも膜下麻酔で主に帝王切開術の麻酔管理を行なってきました。各種麻酔方法を比較した先行研究では、麻酔効果の持続時間などについて、さらなる検討が必要であるとされており、当院でのデータ解析が帝王切開の麻酔方法の検討に役立つと考えています。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年12月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、年齢、身長・体重、妊娠分娩歴、合併症、帝王切開術の区分、生まれてきた新生児の体重 等